

いしがみ
東海村立石神小学校

環境にやさしい電気設備の採用で
 人と自然と文化が融合した
 21世紀型エコスクールが誕生。



そのヒミツは…?



●校長
 埴厚氏

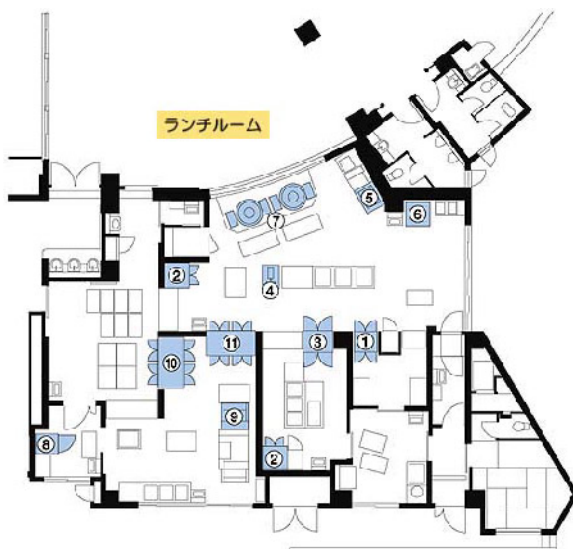
この度の改築事業においては、環境への負荷を低減させるエコスクール構想に基づいて、暖房・給湯等の熱源に電気式システムを採用しました。なかでも、子供たちが育つうえで最も重要な「食」において、おいしくて安全な給食を提供するためには、ドライ方式で衛生面に優れたオール電化厨房が最適でした。調理が簡単になったうえに食味も向上したようで、子供たちからは野菜がおいしく食べられるようになったとのうれしい声が聞かれます。火災の心配も少なく、常に快適な作業環境を維持できるなど、未来を担う子供たちを育てる21世紀の理想的な学校施設を実現できたと考えています。



2学年が一度に食事をできるランチルームは、21世紀にふさわしい洗練されたデザインに仕上がっています。



調理室へは、エアシャワーを通過してごみや埃を除去してから入室します。



厨房機器設備

1. パススルー冷蔵庫 3φ200V 0.696kW×1台
2. 器具消毒保管庫 3φ200V 7.95kW×2台
3. パススルー冷凍庫 3φ200V 0.626kW×1台
4. 合成調理器 3φ200V 0.4kW×1台
5. 電気フライヤー 3φ200V 12.0kW×1台
6. スチームコンベクションオープン 3φ200V 16.0kW×1台
7. 電気回転釜 3φ200V 24.3kW×1台
8. 牛乳保冷库 1φ100V 0.25kW×1台
9. 食器・食缶洗浄機 3φ200V 44.6kW×1台
10. 食器消毒保管庫 3φ200V 16.7kW×1台
11. 食缶消毒保管庫 3φ200V 13.5kW×1台



電化厨房採用事例紹介 **Eサkses施設**

施設のご紹介

2004年1月、伝統ある石神小学校の校舎がリニューアルされました。子供たちが快適な環境で教育を受けられるよう、蓄熱式の床暖房を各教室に完備しているほか、太陽光発電システムや太陽熱給湯システムといった新エネルギーを採用しています。発電状況が表示されるパネルも廊下に設置され、子供たちの環境教育にも役立てられています。また、地域に開かれた学校づくりを目指し、土曜日と日曜日は体育館を一般開放しているのに加え、今後は石神ホールに地域の人たちを招いて児童との食事会を開くなど、地域との交流を深める上での設備も充実しています。



- 所在地／茨城県那珂郡東海村大字石神外宿1055番地
- TEL／029-282-2005
- FAX／029-283-4042
- Eメール／ishigami@tokai-ishigami-e.ed.jp

施設概要

■調理能力 400食／日 ■スタッフ数 4名 ■厨房面積 186.10m²

その他設備機器

- ・空調 ●エコ・アイス 16HP×1台
- ・給湯 ●電気温水器 560L×4台
- 太陽熱給湯システム